

## 議長選挙 各候補 所信表明

翠政会：芝山稔氏

芝山稔でございます。議長選挙立候補に当たりまして、所信を述べさせていただきます。

私たち議員は、市民から直接選挙で選ばれた市民全体の代表者であり、市民生活に直結した広範な政策決定に関与できる立場です。

また、条例、予算、決算などをはじめ、松本市の事務の調査や議会の審議に参加することによって住民の意思を行政に反映させる重要な役割を持っております。

さて、議会基本条例が施行され4年が経過し、また、議員定数が42から31へと減員して2年が経過をいたしました。この間、基本条例の忠実な執行に努めながら31名持ち場立場で努力を重ね、政策、広報、交流の各部会を中心として一定の成果が出せたことは高く評価できるものであります。

また、部会の中ではスタート段階でイメージしていた方向と若干違う結果となった事象もありましたが、こうしたことも議会基本条例を踏まえて、私達が果敢にチャレンジした結果であり、前進の過程として一定の評価とともに、次へのステップへの足跡、貴重な経験として残すことができたのではないかと考えております。

私は、これまでもまた今後も議会運営において重要なことは、市民から選ばれた31名がいかにか持ち前の能力をいかんなく発揮をし、総合力を向上させて行くかだと思えます。

その意味において、議会基本条例の制定からその具現化を図ってきたこれまでの議員各位の努力に改めて敬意を表すものであります。

今後、この成果と反省を踏まえて、これまでの活動を検証し、進むべきは進め、改めるべきは改め、さらに新たな課題に挑戦していくことも必要と考えております。

また併せまして、今後の議会運営においては、諸先輩方が築きあげてきた歴史と伝統の上に立ち、また議会が言論の府であることを改めて認識する中で、議会ルールに則り、自由闊達に議論しながら、既存会派また無所属議員を含め、多様な意見を把握しつつ、議員間の自由で十分な討議のできる議会運営を目指したいと考えております。

たとえば言えば、理事者との関係で、議会としての多数決を除き、議会としての提言や、議会運営上の課題に対しては、全会一致を旨とする運営が重要と考えております。

私は、松本市議会は正副議長・監査委員選挙などを通じ、議員間で政策をたたかわすことのできる力強い議会であると考えております。

一世紀を超える歴史と伝統を誇る松本市議会の議長を目指すことには、大いなる重圧を感じるところであります。まして議員とならせていただいて10年、経験は十分とは言えませんが、松本市と市議会に対する情熱、初心を忘れてはおりません。

今後、議員各位のご指導をいただきながら、繰り返しますが、松本市議会の総合力を向上させ、市議会と松本市の発展に向け最大努力してまいります。

新風会： 太田更三氏

議長選挙に立候補致します太田更三であります。どうぞよろしくお願いをいたします。我々が議会は、議会基本条例を全会一致で制定し、様々な課題、問題点のより良い解決方法を目指し、模索し、そして日々研鑽しておるところであります。

この道中途で止めるわけにはまいりません。市民の安心安全に繋がる、更なる高見を目指さなければならないと思っております。

その為には、丁寧な議論が必要であると思っております。その遂行の責任は、わが身に受ける覚悟であります。

元より、松本市の課題の報告事項、協議事項から、議案へと続く過程も、丁寧に議論をし、審査をして、市民の安心安全に繋がるよう、議員の責任と義務と権利を駆使して、やらなければならないと思っております。その遂行責任も、わが身に受ける覚悟であります。

多くの市民の皆様の負託を受けた議員同士、それぞれのライフワークに違いは有りますが、お互いに認め合いながら、議会基本条例、議会提要等々のルールの上に、皆様と共に、市民の安心安全の為の、議会運営を積極的に進めて参りたいと思っておりますので、皆様の、暖かい、ご賛同を賜りますよう心からお願いを申し上げ、立候補のご挨拶とさせていただきます。

どうぞ、よろしくお願いを致します。